

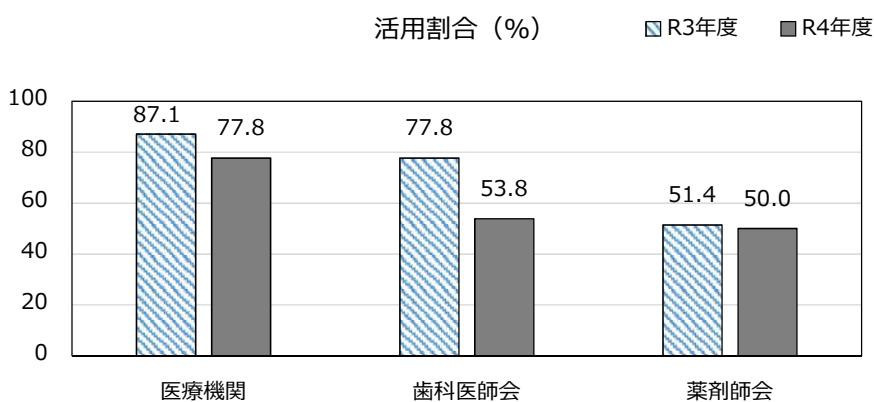
**令和5年度 糖尿病連携手帳（連携パス）利用状況調査結果
(令和4年4月1日～令和5年3月31日の実績)**

(1) 回収率

	配布数	回収数	回収率(%)	昨年度回収率(%)
参加医療機関	34	27	79.4	91.2
出水郡歯科医師会	29	13	44.8	29.0
出水郡薬剤師会	50	32	64.0	74.0
阿久根市	1	1	100	100
出水市	1	1	100	100
長島町	1	1	100	100

R4年度の調査の回収率に比べ、参加医療機関、薬剤師会の回収率が減少

(2) 糖尿病連携手帳（連携パス）活用状況



市町名	活用状況
阿久根市	活用している。
出水市	活用している。
長島町	活用している。

- ・全体の糖尿病連携手帳（連携パス）の活用割合は61.1%（市町を除く）
- ・R3年度と比較して、活用割合が低下している。
- ・参考：川薩保健医療圏（医療機関）活用割合：94.7%

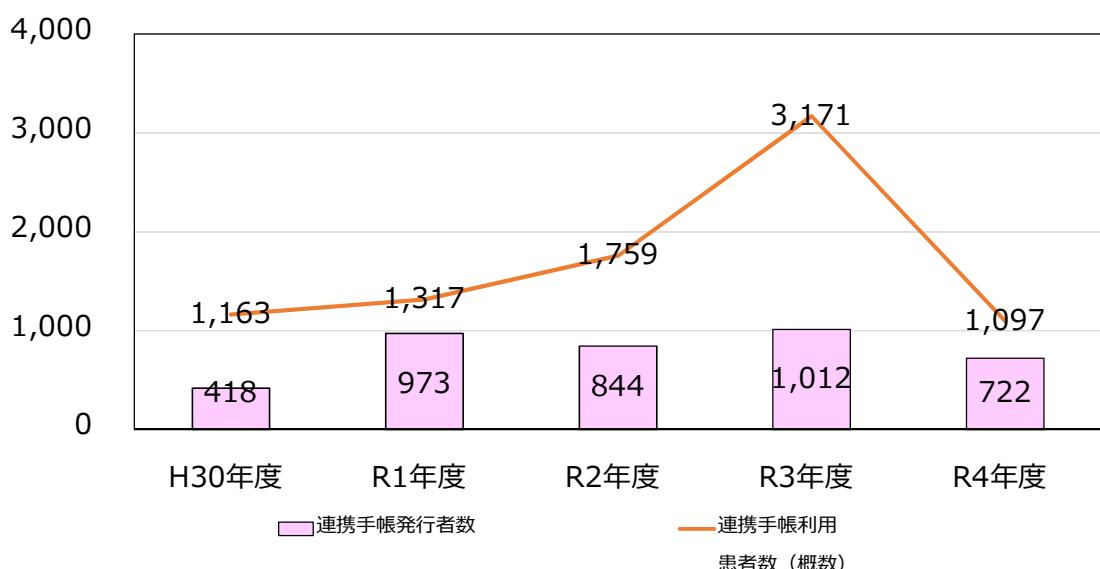
(3) 糖尿病連携手帳の持参状況

単位 : %

割合	A 大半の患者が手帳を 持参し受診に活用	B 約半数の患者 が手帳を持参 し受診に活用	C 殆どの患者 が手帳を持 参しない	D 該当なし	E 無回答
医療機関	22.2	29.6	44.4	0.0	3.7
歯科医師会	0.0	46.2	53.8	0.0	0.0
薬剤師会	3.1	15.6	81.3	0.0	0.0

- ・参加医療機関では、半数以上の患者が手帳を持参し、受診に活用している。
- ・歯科診療所や薬局においては、手帳を持参し、受診に活用している割合は半数以下である。

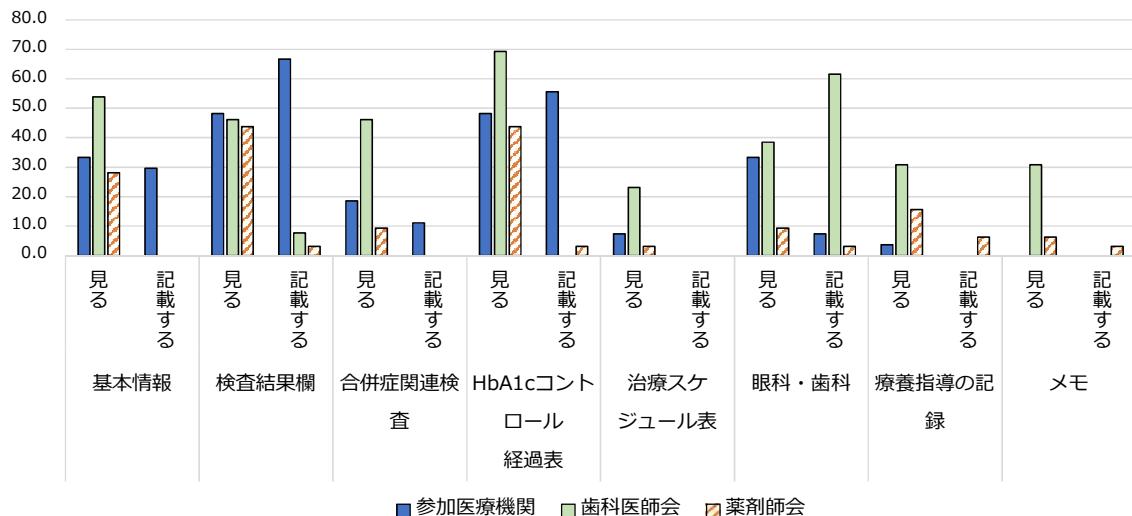
(4) 連携手帳発行者数、連携手帳利用患者数（概数）



- ・参加医療機関における「連携手帳発行者数」は、増減があり令和4年度においては連携手帳発行数及び連携手帳の利用者数も減少している。

(5) 連携手帳の活用項目（医療機関、歯科医師会、薬剤師会）

連携手帳の活用項目割合(%)



- ・見ると回答した割合が最も高かったのは、参加医療機関では「検査結果欄」、歯科医師会、薬剤師会ともに「HbA1cコントロール経過表」であった。
- ・記載すると回答した割合が最も高かったのは、参加医療機関では「検査結果欄」、歯科医師会では「眼科・歯科」

各関係機関が関係する箇所に確実に記載することで、連携の推進が期待される

(5) 連携手帳の活用項目（市町）

見る	記載する	項目	見る	記載する	項目	見る	記載する	項目
○		基本情報	○		HbA1cコントロール経過表	○	○	療養指導の記録
○		検査結果欄	○		治療スケジュール表	○		メモ
○		合併症関連検査	○		眼科・歯科			

- ・市町においては、全項目確認をしており、療養指導記録について記載している。

各関係機関が関係する箇所に確実に記載することで、連携の推進が期待される

(6) 糖尿病連携手帳の具体的な日頃の活用方法 (抜粋)

【参加医療機関】

- ・他科受診時のデータの把握をしている。
- ・血糖・尿酸を定期的に測定し、その値を参考にして食生活や運動、体重に反映させる様に指導している。
- ・体重、血糖値、HbA1cの経過と他科（眼科）の病状の共有に活用している。
- ・検査結果記入と以前の検査データを確認する。
- ・眼科の治療状況、現状の確認をしている。
- ・検査結果や治療の確認
- ・血液検査や尿検査の結果記入、検査結果が一連で見ることができるために、コントロール状況把握に活用している。

(6) 糖尿病連携手帳の具体的な日頃の活用方法 (抜粋)

【歯科医師会】

- ・外科処置する時、通院先やHbA1cなどコントロールの状態を確認している。
- ・持参された方には、歯科衛生士が歯科の項目を記入している。
- ・処置時にHbA1cの値の把握。口腔外科医へ情報提供を行っている。
- ・歯周病における観血処置の可否判断にHbA1cのコントロール経過表を参考にしている。

【薬剤師会】

- ・血糖コントロールが出来ているか確認している。
- ・検査値を確認し、患者様との会話につなげている。
- ・血圧、血糖値、の確認を行い、これに基づき服薬指導を実施している。
- ・検査値を薬歴へ記録HbA1cし服薬指導に役立てている。
- ・薬剤の重複チェックをしている。
- ・薬歴に記録し、血糖値等高い時は食事療法、運動療法指導を実施している。

(6) 糖尿病連携手帳の具体的な日頃の活用方法 (抜粋)

【市町】

- ・糖尿病重症化予防プログラムの保健指導に活用している。
- ・定期的に通院できているか、検査を行っているかを確認をしている。
- ・総合検診の結果報告会にて、糖尿病重症化予防対象者の初回面接時に配布している。
- ・訪問指導の際、かかりつけ医でのHbA1cの結果を確認し、指導を実施。
- ・歯周病検診の受診確認にも利用している。
- ・糖尿病重症化予防対象者が、手帳のタイトルが気になるとの意見もあった。

(7) 糖尿病連携手帳を使ってみて良かったこと (抜粋)

【参加医療機関】

- ・他科受診する場合にHbA1cなどの経過がわかる。
- ・眼科所見の記載と血糖コントロール状態の確認ができる。
- ・合併症の有無や、糖尿病のコントロール状況が判明した。
- ・紹介状を書く手間が省けて良かった。
- ・他の病院施設からの転院時にコントロール状況やお薬の詳細が直ぐに知ることができ、対応時間の短縮になっている。

【歯科医師会】

- ・患者から聞いていた通院先と記載されていた通院先が異なるときがあり、患者の思い込みを修正できた。
- ・検査結果など正確な値を把握できる。
- ・歯周病と糖尿病との関係性で病状の観察に役立っている。
- ・拔歯時の糖尿病の状態の確認に役立っている。

(7) 糖尿病連携手帳を使ってみて良かったこと (抜粋)

【薬剤師会】

- ・家族が来局した時も手帳を見せてもらえば血液検査の結果を把握できる。
- ・HbA1cが確認できる。
- ・連携手帳があることで生活習慣や食事等の話が出来る。
- ・泌尿器科においては、腎機能が悪化している患者も多いので、内科の薬を服用中の場合は血液検査の数値を把握でき、役立っている。

【市町】

- ・会話で聞く人以外の対象者の状況を知ることが出来る
- ・検査結果の値だけでなく、推移を見ることが出来るため、本人の努力がわかる。

(8) 関係機関に求めること (抜粋)

【参加医療機関】

- ・お薬手帳を見て糖尿病のお薬を服用治療されているにも関わらず、糖尿病連携パスを貰っていない方が多い。

【歯科医師会】

- ・主治医から、できるだけ手帳を渡して歯科受診も勧めて欲しい。

【薬剤師会】

- ・おくすり手帳と一緒に薬局でも提出するよう声かけをしてほしい。

(9) その他御意見 (抜粋)

【参加医療機関】

- ・糖尿病手帳の配布があるとありがたい。
- ・**患者への手帳の存在と利用方法について周知してほしい。**
- ・お薬手帳の中にも、血糖値やHbA1cなどを記入するところがあれば患者の意識改革に繋がるかと思う。
- ・医療機関への糖尿病連携手帳の配布体制を整えてほしい。

【歯科医師会】

- ・**手帳を持参される方が少ない。**
- ・手帳自体を発行してもらっていない方もいる。歯科の治療時に大変参考になるので手帳を持参してもらいたい。

【薬剤師会】

- ・**手帳持参を確認しても、検査結果の記載がないものが多い。**

まとめ

- ・出水保健医療圏における糖尿病連携手帳の活用割合は医療機関において70%以上であり、活用している方が多い。
- ・糖尿病連携手帳を患者が持参した場合には、検査結果や歯科、眼科の受診状況を確認している機関が多く、各関係機関が関係する箇所に確実に記載することで連携の推進が期待される。
- ・歯科診療所や薬局においては「糖尿病連携手帳を持参していない方も多い」という意見があり、糖尿病連携手帳の配布と利用方法について周知を行い、医療機関や薬局、歯科診療所等の関係機関を利用する際には、必ず連携手帳を提示するよう患者や家族への声かけが必要となる。
- ・声かけや立札の活用を行い、患者が連携手帳を提示できるよう促す必要がある。

糖尿病地域医療連携体制に係る各関係機関の役割について

